

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	假屋崎省吾 信濃大町『恋華めぐり』
事業主体(連絡先)	大町市(産業観光部観光課)
事業区分	⑥ーア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	3,607,276円(うち支援金:527,000円)

事業内容

華道家 假屋崎省吾のプロデュースにより、恋人の聖地として選定された大町市内をフィールドとして、花きなどの生産者や観光施設等を繋げ、観光客を増やし、地元での消費を拡大させるよう『花』をテーマに展開。

■假屋崎省吾氏による地場産花を使用した作品展示
 假屋崎省吾氏に大町市の観光拠点となっている3施設(塩の道ちようじや、国営アルプスあづみの公園、ラ・カスタ)において、作品を創作して展示

■假屋崎省吾氏展示作品を巡る観光施設『恋華めぐり』の開催
 同氏の展示作品を巡る、観光施設『恋華めぐり』の開催により観光施設を繋ぐ仕組みを構築。その3か所を繋ぐ方法として、周遊バスぐるりん号を「恋華めぐり号」として活用。

■大町温泉郷による『恋華めぐり』の開催
 観光施設『恋華めぐり』の開催に併せ、同氏監修によるサテライト会場として、大町温泉郷『恋華めぐり』を開催。



【 信濃大町『恋華めぐり』 】

【目標・ねらい】

- ①「花」をテーマとした観光PR
- ②イベント等による地域活性化
- ③観光地への宿泊誘客

事業効果

- ・假屋崎省吾氏の制作した装花を展示した観光施設を観光周遊バス(恋華めぐり号)で巡り観光施設を繋ぐ仕組みが構築され、観光客の誘致に効果があった。
- ・観光周遊バスと温泉郷宿泊をセットにした商品造成を行い、次年度以降における着地型旅行商品の充実を図れるような取組みが出来た。
- ・信濃大町『恋華めぐり』実行委員会が設立され、観光誘客に加え、地元生産花の消費、地元中学生との花育懇談など当事業を通じて市内の消費・普及活動が行える体制が整った。
- ・メディアへの高い情報発信力を持つ、假屋崎省吾氏の社会貢献活動の一環としての取り組みにより、大町市における活動の情報が発信され知名度向上に繋がった。
- ・「恋人の聖地観光協会」によるモデル事業として全国の恋人の聖地に先駆けて実施され、雑誌掲載等で当事業が紹介されたことで、各種メディア等への注目率が高まり、今後の大きな集客効果が見込まれることとなった。
- ・その他メディア取材実績→信濃毎日新聞、大系タイムス、大町市有線放送、中日新聞、FM長野、大町市ケーブルテレビ

今後の取り組み

- ・気温が想定外に暖かく開催から6日後には展示作品を撤去せざるを得なかった。撤去後はパネル展示で対応。
- ・関連イベント等開催により地域活性化と他地域との連携を視野に来年度も事業を継続。
- ・『花』と『恋』をテーマとした市民活動の活性化、おもてなしのまちづくりや『恋華めぐり』の定着化PRを推進する

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・メイン装花を制作し、現存する観光施設に付加価値を加え、来訪者を増やす効果が得られた。
- ・「恋人の聖地観光協会」によるモデル連携事業として実施され、その情報発信力とブランドイメージを活用させていただき、雑誌掲載や各種メディア等で当事業が紹介されたことで、注目率が高まり、大町市の観光PRとなり今後の大きな集客効果が見込まれることとなった。